

件名：企画展「なんなん？どうなん？そうなんだ！ 2014 — 内側から見る美術：工芸」

1 目 的 毎回、様々なテーマに沿って美術を紹介する企画展示の7回目。
通常の展覧会とは違う方法で展示し、美術作品に様々な角度から触れてもらうものです。①いろいろな素材の作品を展示する。②一般的な展示方法ではない方法（素材を提示したり、構造などを見られるようにする、など）で試みる。③座って鑑賞できるコーナーを設ける。④制作方法をわかりやすく提示する、等が展示計画となります。

2 内 容 今回は「工芸」がテーマです。工芸とは一般的に、実用を主に考えられた伝統工芸から始まり、機能性や美しさを備える“機能美”があり、現在においても技術的にも優れ、日本の伝統を備えるものが、評価されています。その一方で、美術作品としての“工芸”も展開をしており、特にここ近年は、その位置づけも模索し続けられています。実用性よりも鑑賞を目的とし、日本の伝統的な素材や技術を発展させ、美術作品として提示する作家も多くおります。
様々な技法で制作されている現代の作家の作品を、技法などの解説と共に紹介します。

3. 事業の概要

- ①会期 平成26年3月8日（土）～5月6日（火・祝）
- ②会場 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 3階企画展示室
- ③観覧料 無料
- ④休館日 火曜日（祝日の場合は、その翌日）
- ⑤主な展示作家 石川充宏、沖いづみ、沖泰宣、加藤龍雄、狩野炎立、辻垣内聖、南雲龍比古、南雲龍、南雲影、堀口岱子

4. 主 催 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館

5. 実 績 平成19年度 「なんなん？どうなん？そうなんだ！2007
— 内側から見る美術：彫刻」
平成20年度 「なんなん？どうなん？そうなんだ！2008
— 内側から見る美術：油彩」
平成21年度 「なんなん？どうなん？そうなんだ！2009
— 内側から見る美術：音のカタチ」
平成22年度 「なんなん？どうなん？そうなんだ！2010
— 内側から見る美術：日本画」
平成23年度 「なんなん？どうなん？そうなんだ！2011
— 内側から見る美術：視線」
平成24年度 「なんなん？どうなん？そうなんだ！2012
— 内側から見る美術：版画」

※ 展覧会タイトルについて昨年度までは、9月頃に開催していたため2007～2012となっていますが、今年度は開催時期を改め3月からとしたために“2013”という表記はせず、“2014”とします。